



平成30年10月12日

北海道横断自動車道根室線（尾幌～糸魚沢間）の計画について

地域の意見聴取（第2回）を実施します

～皆さまの御意見をお聞かせください～

釧路開発建設部では北海道横断自動車道根室線（尾幌～糸魚沢間）の計画について、地域の皆さまや道路を利用される方からの御意見を道路計画に反映するため、アンケート及びヒアリング調査を行いますので、御協力をお願いします。

<地域の意見聴取概要>

尾幌～糸魚沢間のルート検討に当たり、重視すべき点や配慮すべき点について御意見をお伺いします。

（1）アンケート調査

調査票 厚岸町、浜中町、根室市の各自治体にお住まいの各世帯に調査票を配布いたします。また、3自治体の役所・役場及び道の駅（厚岸グルメパーク、スワン44ねむろ）に調査票を備え付けます。

回答方法 ①返信用はがきによる回答

- ・最寄りの郵便ポストへ
- ・厚岸町役場・浜中町役場・根室市役所及び道の駅（厚岸グルメパーク、スワン44ねむろ）の回収ボックスへ

②インターネットによる回答（釧路開発建設部HPからアクセスできます）

- ・URL http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/douro_keikaku/b0sadt000007w9l.html

実施期間 平成30年10月26日（金）から11月15日（木）まで



（2）ヒアリング調査

関係自治体や関係団体、事業者の皆さまにインタビュー形式のヒアリングを実施します。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 道路計画課 電話 0154-24-7268
道路計画課 道路計画課長 小林 孝士 （内線 3351）
道路計画課 道路調査官 鎌田 将慶 （内線 3402）
釧路開発建設部HP <http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>



アンケート配布地域及び回収ボックス設置箇所

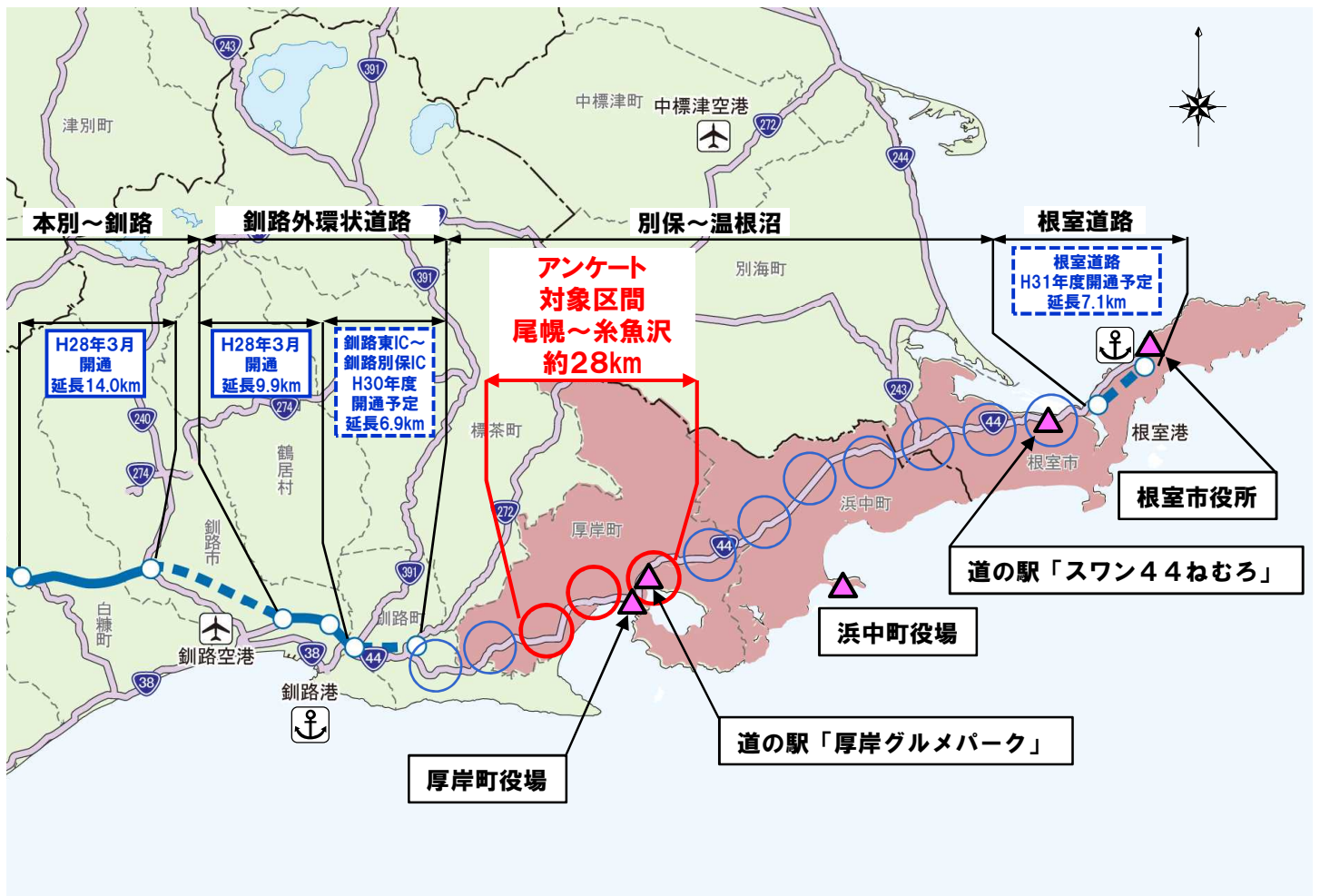
設置場所

市役所・役場	厚岸町役場、浜中町役場、根室市役所
道の駅	厚岸グルメパーク、スワン44ねむろ



凡例	
開通区間	
事業中区間	
調査中区間	

凡例	
アンケート配布地域	
回収ボックス設置箇所	



北海道横断自動車道 根室線（尾幌～糸魚沢間）における 道路計画に関する第2回アンケート調査

北海道横断自動車道根室線は、黒松内町を起点として札幌市、帯広市等を経由し、本別ジャンクションから分岐し、釧路市、釧路空港、釧路港を経由して、根室市、根室港に至る延長約538kmの高規格幹線道路です。

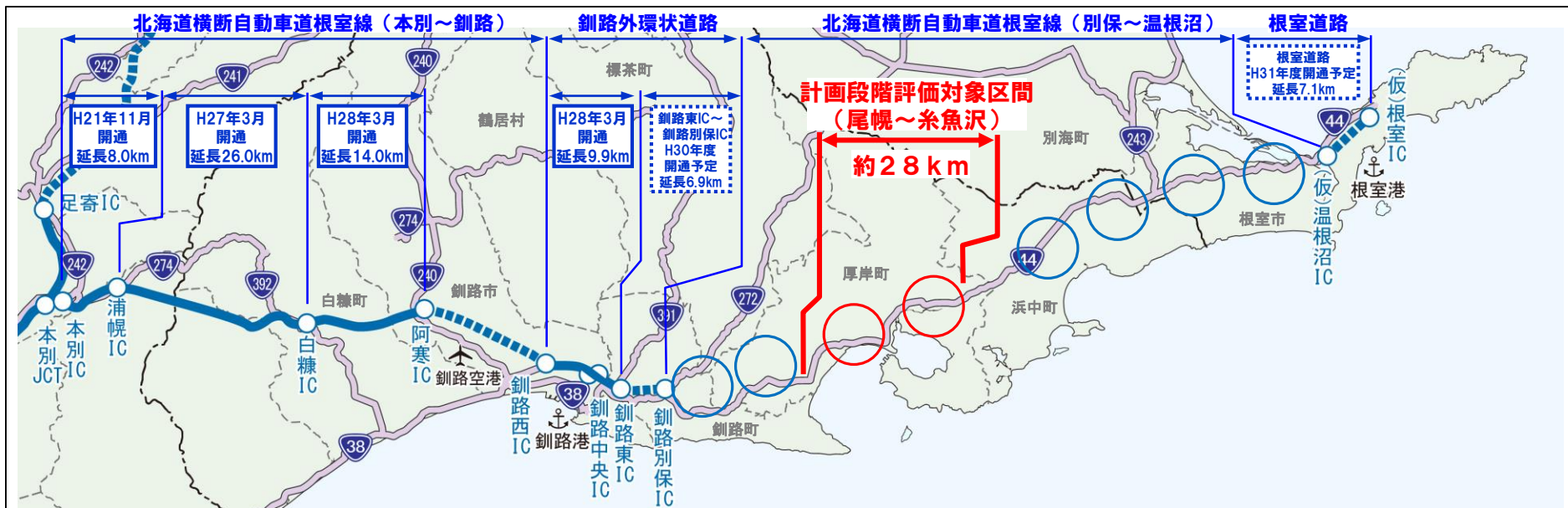
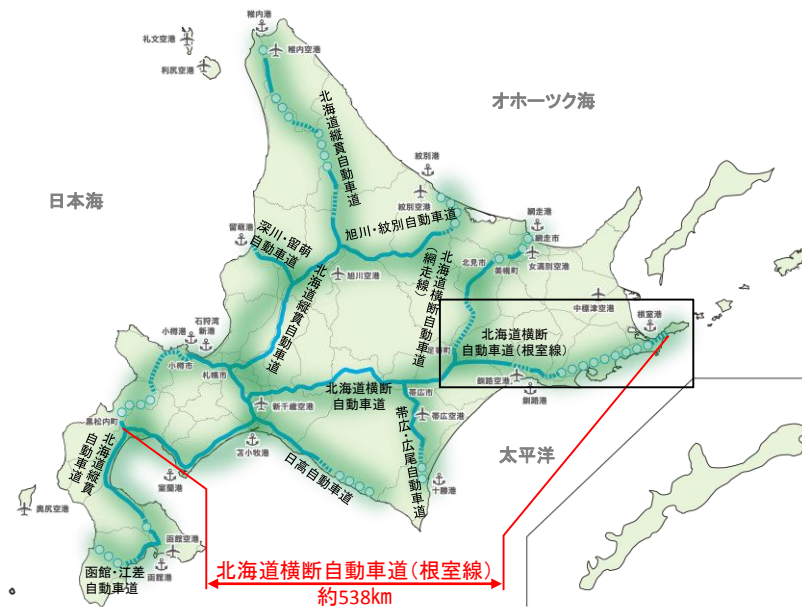
現在、小樽IC～阿寒IC間までが開通しており、阿寒IC～釧路西IC間、釧路東IC～釧路別保IC間は国土交通省北海道開発局が整備を進めています。

本アンケートは、このうちの厚岸町尾幌～厚岸町糸魚沢間の道路計画に当たり、地域の皆様の生活に役立つ道路とするため、ご意見を伺う調査です。

昨年の12月に実施しました第1回意見聴取では、地域の皆様が日頃感じられている地域の課題や、必要な道路機能等についてご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

今回の第2回意見聴取では、ルート検討にあたり、重視すべき点や配慮すべき点についてお聞きします。アンケートにご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

■このアンケートでは、尾幌～糸魚沢間のことについてお伺いします。



釧路・根室地方が目指す姿と概況

釧路根室地域における国道44号は、空港・港湾をはじめ物流拠点や高次医療施設が集積する釧路市と、重要港湾を有し、根室地域の中心都市である根室市を結ぶ基幹ルートです。

また、沿線には漁業・酪農業の盛んな厚岸町、浜中町があり、農水産物流や暮らし、救急搬送など様々な交通が利用するなど、釧路根室地域内の重要路線となっています。

このような中、現在の地域や道路の状況から、地域の将来を見据えた改善すべき課題（道路に関して）は、以下のように考えられます。

地域・道路の状況から導かれる地域の課題(案)

農業・水産業支援（物流）	暮らし（医療）	災害（防災）
<ul style="list-style-type: none"> ○釧路根室地域は、日本でもトップクラスの食糧供給基地であるが、<u>物流拠点間の距離が長く長距離輸送が必要</u> ○貨物自動車が増加傾向にあるなか、<u>地域を支える農水産業の輸送効率化が課題</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○釧路根室地域は、<u>高次医療や分娩を釧路市に依存するが、カバー面積が全国1位</u> ○釧路市を中心とした医療圏域を形成するには<u>釧路市への速達性が課題</u> ○安心して暮らせる地域を形成するには<u>釧路市への速達性が課題</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○釧路根室地域は大規模な地震の発生確率が<u>北海道で最も高い</u> ○厚岸町市街を中心に津波浸水予測範囲が広がり、<u>救援物資の輸送や災害復旧に大きく影響</u>

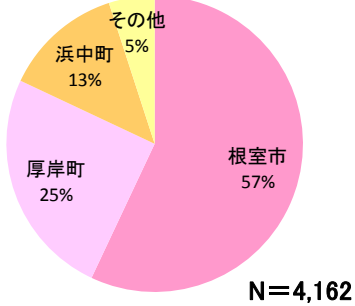


第1回アンケート調査の結果

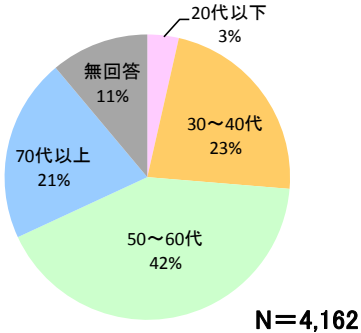
アンケートには、地域の住民や道路を利用される方などから、4,162件の回答をいただきました。

回答者の居住地、年齢、運転頻度、尾幌～糸魚沢間の利用頻度、利用目的

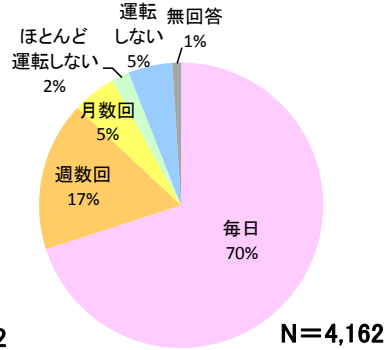
▼居住地



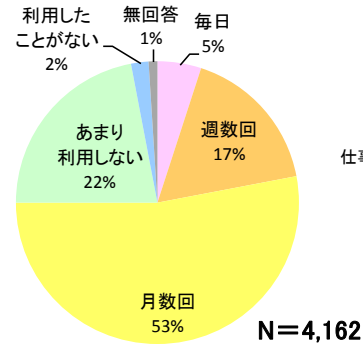
▼年齢構成



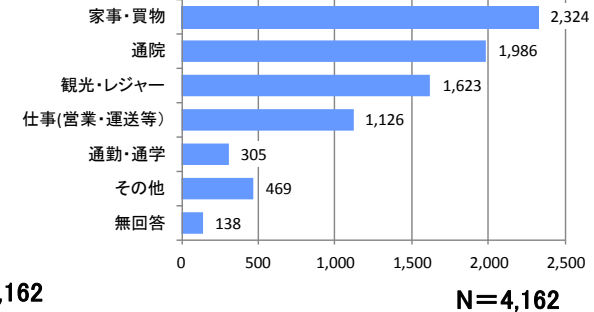
▼自動車の運転頻度



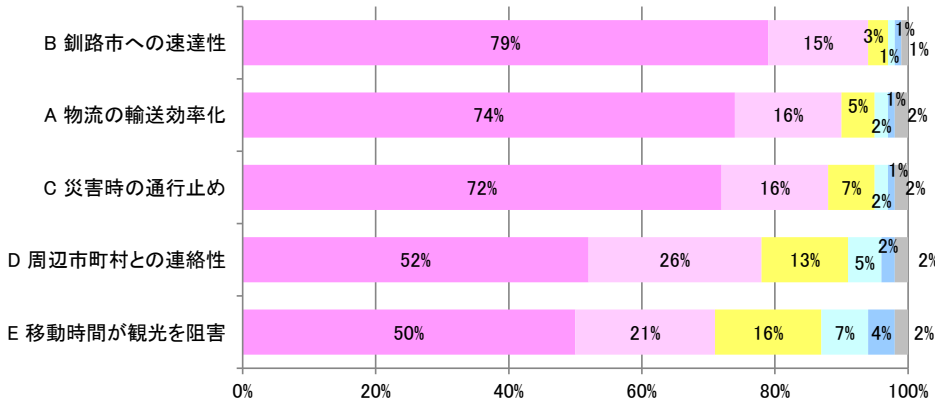
▼尾幌～糸魚沢間の利用頻度



▼尾幌～糸魚沢間の利用目的

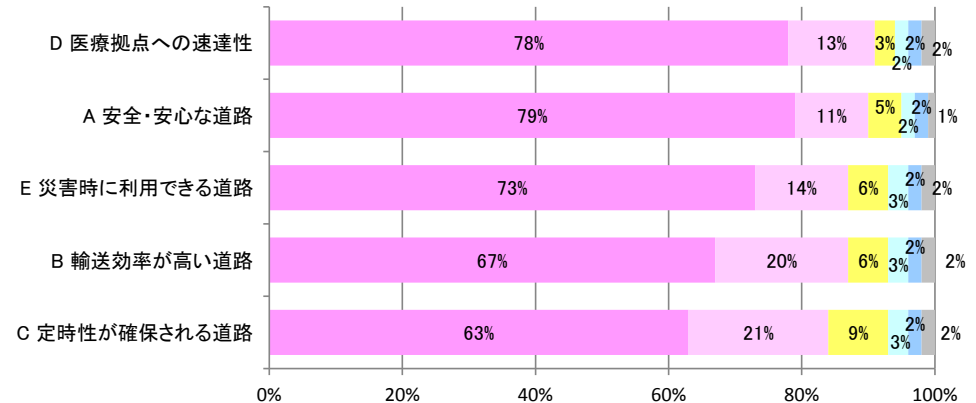


将来を見据えた地域の課題



将来を見据えた地域の課題は、特に釧路市への速達性や物流の輸送効率化が課題であるとの回答をいただきました。

尾幌～糸魚沢間に必要な道路機能



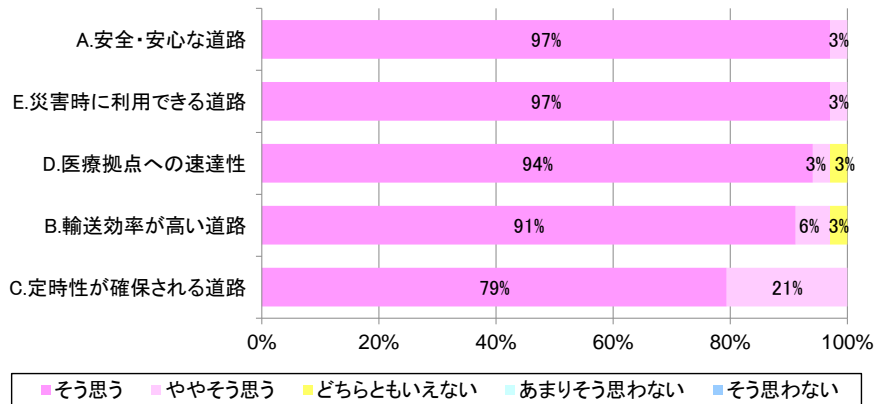
尾幌～糸魚沢間においては、特に医療拠点への速達性や安全・安心な道路が必要であるとの回答をいただきました。

第1回アンケート調査の結果

ヒアリング調査

ヒアリング調査では、沿線自治体や各団体から34件の回答をいただきました。

尾幌～糸魚沢間に必要な道路機能



総回答数 N=34

尾幌～糸魚沢間においては、特に安全性が高く、災害時に利用できる道路が必要であるとの回答をいただきました。

テーマ	主な意見
安全・安心な道路	・カーブと勾配の変化が多く、市街地では交通量が増える、大きな交差点もある。この区間を別線にて迂回できれば、事故防止となると思う。【商工会議所】
輸送効率が高い道路	・カーブが少なく、信号のない、見通しの良い道路であれば時間短縮となり負担軽減になると思う。【農水産加工会社】
定時性が確保される道路	・冬は時間がかかるので早めに品物を出さなければならない。少しでも夏と同じ時間に近づけられれば、品物を準備するのに助かる。【農水産加工会社】
医療拠点への速達性	・救急車の台数が限られており、釧路市への搬送がある場合には拘束時間が長くなり、救急件数が多い場合には、救急車が足りなくなる可能性がある。【消防】
災害時に利用できる道路	・平成6年10月に発生した北海道東方沖地震の時は、大きく迂回する必要があるため、輸送に大きな影響が出たため、冠水や地震の影響を考えると、安全・安心な「尾幌～糸魚沢」の整備は必要と思う。【運送会社】

第1回アンケート調査のまとめ

- 多くの道路関係者や各団体の皆様が地域の課題に対して道路整備の必要性を感じています。
- 特に物流における安全・安心な道路、災害時に避難や支援で利用できる道路、速達性の高い救急搬送路について多く回答を頂きました。

頂いた意見を
踏まえ政策目標
を設定しました

尾幌～糸魚沢間に必要とされる政策目標

日本の食卓を支える主要
物流輸送経路の効率性・
安全性の向上

世界水準の観光地形成
に向けた、ひがし北海道
の広域観光周遊支援

地域が安心して暮らせる
ため、医療施設への速達
性・安定性の向上

大規模地震発生時の避難・
復旧活動を支援

○第1回地域意見聴取で地域の課題、尾幌～糸魚沢間に必要な道路機能について確認したことから、政策目標の達成に必要な機能と配慮すべき事項等を踏まえ、以下のような2つの対策案を設定しました。

政策目標

日本の食卓を支える主要物流輸送経路の効率性・安全性の向上

世界水準の観光地形成に向けた、ひがし北海道の広域観光周遊支援

地域が安心して暮らせるため、医療施設への速達性・安定性の向上

大規模地震発生時の避難・復旧活動を支援

政策目標達成に必要な機能

- ・市街地を回避し、効率よく輸送・移動ができる道路
- ・交通事故が少ない安全な道路

- ・観光地から釧路空港へのアクセス性が高い道路
- ・定時性を確保できる道路

- ・年間を通じて医療拠点である釧路市への速達性の高い道路
- ・搬送時の安定性が高い道路

- ・津波災害時に避難・支援ルートとして機能する道路
- ・代替性があり、複数の経路選択ができる道路

配慮すべきポイント

・地域への影響 ・環境への影響 ・工事中の影響 ・経済性

2つの対策案と整備イメージ

別線整備ルート

津波浸水予測範囲を回避し、環境面への影響に最大限配慮したルート



一部現道活用ルート

津波浸水予測範囲のうち、低浸水区間は道路の嵩上げにより現道を活用するルート



凡例

- : 市街地・集落
- : 現道
- : 別線整備
- - - : 現道活用

対策案のコントロールポイント

○各対策案検討のコントロールポイントとしては、貴重な湿地等の自然環境、津波浸水エリアの通過を短絡できるルートを設定し、物流拠点施設や災害対策本部へのアクセスに配慮します。



配慮するコントロールポイント

社会状況	<ul style="list-style-type: none"> 市街地（都市計画区域）や集落、農用地 公共施設（役場、病院、学校、福祉施設等） 史跡・遺跡
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境（ラムサール条約登録湿地、鳥獣保護区（特別保護地区）等） 津波浸水予測範囲、地すべり箇所

対策案の比較

○政策目標達成に必要な機能とその他の配慮すべき事項を踏まえ、2つの対策案を設定しました。



	【案①】別線整備ルート	【案②】一部現道活用ルート
ルートの考え方	津波浸水予測範囲を回避し、環境面への影響に最大限配慮したルート	津波浸水予測範囲のうち、低浸水区間は道路の高上げにより現道を活用するルート
整備イメージ		

凡 例	
	一般国道
	主要道道
	一般道道
	JR
	ラムサール条約登録湿地
	鳥獣保護区(特別保護地区)
	道自然環境保全地域
	地すべり
	急な上り坂、下り坂
	急なカーブ
	冠水多発箇所
	地吹雪多発箇所
	市街地
	遺跡
	自然環境配慮範囲
	事故多発箇所

凡 例	
	●津波浸水予測範囲(最大浸水深)(m)
	1.0m 未満
	1.0m以上 2.0m 未満
	2.0m以上 3.0m 未満
	3.0m以上 4.0m 未満
	4.0m以上 5.0m 未満
	5.0m以上 6.0m 未満
	6.0m以上 7.0m 未満
	7.0m以上 8.0m 未満
	8.0m以上 9.0m 未満
	9.0m以上 10.0m 未満
	10m以上

対策案の比較表

対策案の考え方		【案①】別線整備ルート	【案②】一部現道活用ルート	
		津波浸水予測範囲を回避し、環境面への影響に最大限配慮したルート	津波浸水予測範囲のうち、低浸水区間は道路の嵩上げにより現道を活用するルート	
整備イメージ		<p>■ :別線整備</p> <p>尾幌集落 厚岸市街 糸魚沢集落</p>	<p>■ :別線整備 ■ :現道活用</p> <p>尾幌集落 厚岸市街 糸魚沢集落</p>	
区間延長		約2.5km（自動車専用道路）	約2.4km（自動車専用道路+現道改良）	
政策目標	日本の食卓を支える主要輸送経路の効率性・安全性の向上	線形不良区間の解消	・急な上り坂、下り坂を回避できる	・急な上り坂、下り坂を一部回避できない
		走行安全性の向上	・貨物輸送と厚岸市街・糸魚沢集落の生活交通の輻輳が解消され安全性が確保される	・糸魚沢集落では、貨物輸送と生活交通の輻輳が残るため、安全性に不安が残る
	世界水準の観光地形成に向けた、ひがし北海道の広域観光周遊支援	釧路空港へのアクセス性向上	・夏季、冬季ともに年間を通じて釧路空港—根室市間の時間短縮効果が大い	・一部現道を活用するため、夏季、冬季ともに年間を通じて釧路空港—根室市間の時間短縮効果が小さい
		定時性の向上	・冠水・地吹雪による通行止め多発区間の回避が可能	・糸魚沢集落付近で一部通行止め多発区間を回避できないが、現道対策で低減効果が期待
	地域が安心して暮らせるため、医療施設への速達性・安定性の向上	第3次医療機関への移動時間短縮（夏季・冬季）	・夏季、冬季ともに年間を通じて時間短縮効果が大い	・一部現道を活用するため、夏季、冬季ともに時間短縮効果が小さい
		搬送時の安定性向上	・信号箇所（7箇所）や急なカーブ（9箇所）を全て回避し、搬送患者の負担を軽減できる。	・別線区間は信号箇所（6箇所）や急なカーブ（8箇所）を回避できるが、現道改良区間で信号箇所（1箇所）や急なカーブ（1箇所）が一部残り、搬送患者の負担軽減に支障がある。
	大規模地震発生時の避難・復旧活動を支援	脆弱性の解消	・津波浸水区間を別線整備により解消し、地震・津波発生時の避難・輸送ルートを確保できる	・津波浸水予想範囲にある低浸水区間の現道の嵩上げにより解消し、地震・津波発生時の避難・輸送ルートを確保できる
		代替路の確保	・別線整備により全線代替路を確保できる	・一部区間の別線整備と、既存の道道ネットワークを活用することで代替路を確保できる
配慮すべき事項	地域への影響	家屋等土地利用への影響	・家屋等の支障が少なく、農用地への影響は小さい	・家屋等の支障が少なく、農用地への影響は小さい
		沿道地域からの利便性	・アクセスコントロールされるため糸魚沢集落からの利便性が案②に比べやや劣る	・一部現道を活用するため糸魚沢集落からの利便性が高い
環境への影響	自然環境への影響	・延長が長いですが、樹林地や貴重な湿地など自然環境への配慮が必要な範囲を回避しており、自然環境への影響は小さい	・樹林地や貴重な湿地など自然環境への配慮が必要な範囲を一部通過するが、樹林等の改変面積が小さいため、自然環境への影響が比較的小さい	
工事中の影響	工事中の現道交通への影響	・別線ルートとなるため、工事中の現道交通への影響は案②に比べ小さい	・現道改良区間は現道交通への影響が大きく、工事中の通行規制が必要	
経済性	整備区間や構造に係る費用	・経済性に優れる	・津波浸水域を通過するため、対策費用が嵩み、案①に比べ経済性に劣る	
		約620～700億円	約790～880億円	

北海道横断自動車道 根室線（尾幌～糸魚沢間）に関するアンケート

回答は返信用ハガキに記入し、平成30年11月15日までに郵便ポストに投函してください。

質問1 対策案（ルート帯案）の検討にあたって、どの項目を重視すべきと思いますか？

次のA～Hの項目それぞれについて、「特に重視すべき」～「重視する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視する必要はない	重視する必要はない
A 急な下り坂、上り坂の回避	1	2	3	4	5
B 貨物輸送と生活交通の分離	1	2	3	4	5
C 釧路空港と主要観光地との所要時間短縮	1	2	3	4	5
D 観光周遊時における通行止め多発区間の回避	回答は返信はがきに記入願います				
E 釧路市の医療拠点への所要時間の短縮	1	2	3	4	5
F 信号箇所や急なカーブの回避による救急搬送時の負担軽減	1	2	3	4	5
G 津波浸水区間の回避	1	2	3	4	5
H 災害による通行止め発生時の代替路の確保	1	2	3	4	5

質問2 新たな対策案（ルート帯案）の比較にあたって、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか？

次のA～Dの項目それぞれについて、「特に配慮すべき」～「配慮する必要はない」の当てはまる箇所1つに○をつけてください。	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A 家屋や施設等への影響が小さく沿道地域からアクセスしやすいこと	1	2	3	4	5
B 自然環境への影響が小さいこと	1	2	3	4	5
C 工事中の交通規制による影響が小さいこと	1	2	3	4	5
D 建設に要する費用が安いこと	1	2	3	4	5

質問3 その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由にお書きください。

回答は返信はがきに記入願います

アンケートの回答方法、実施期間

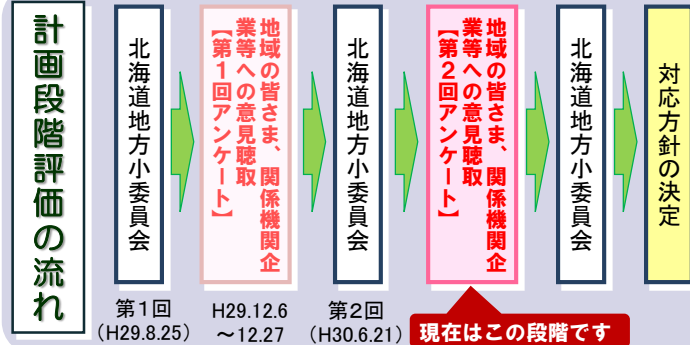
- ・回答は同封の郵便はがきにご記入ください。
- ・回答用の郵便はがきは、切手を貼らずに最寄りの郵便ポストへ投函して下さい。
なお投函は、平成30年11月15日（木）までをお願いします。
- ・インターネットによる回答も可能になっておりますので、下記アドレスからアクセス願います。
北海道横断自動車道 根室線（尾幌～糸魚沢間） 道路計画に関する意見募集 Web回答用ページ
URL http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/douro_keikaku/b0sadt000007w9l.html
※釧路開発建設部ホームページからもアクセス可能です。



■アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。

これは、道路の整備方針を地域の声（地域の皆様、道路利用者、関係団体）を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



アンケートの記入例

郵便はがき

料金受取人払

0 8 5 8 7 9 0

釧路中央局 承認 000

差出有効期間 平成●年●月 ●日まで (切手不要)

釧路市 幸町10丁目3番地
釧路開発建設部 道路計画課

北海道横断自動車道 根室線（尾幌～糸魚沢間）
道路計画に関する意見聴取係 行

■あなた自身のことについて（記入または該当する番号に○印）

住所 〒000-0000 北海道 厚岸市(郡) 厚岸町(村)

性別 ①男性 ②女性 年齢: 50 歳

職業 ①会社員 ②公務員 ③農業 ④漁業 ⑤林業 ⑥観光業
⑦学生 ⑧主婦 ⑨物流・輸送 ⑩商業 ⑪工業
⑫無職 ⑬その他 ()

■自動車を運転する頻度を教えてください（該当する1つに○）

①毎日 ②週数回 ③月数回 ④ほとんど運転しない ⑤運転しない

■国道44号尾幌～糸魚沢間の利用頻度を教えてください（該当する1つに○）

①毎日 ②週数回 ③月数回 ④あまり利用しない ⑤利用したことがない

■尾幌～糸魚沢間の主な利用目的を教えてください（該当する全てに○）

①通勤・通学 ②通院 ③家事・買物 ④仕事(営業・運送等)
⑤観光・レジャー ⑥その他 ()

■前回の第1回目アンケートに回答しましたか（どちらかに○）

①回答した ②回答していない

北海道横断自動車道 根室線(尾幌～糸魚沢間)第2回アンケート 回答欄

質問1. 対策案(ルート帯案)の検討にあたって、どの項目を重視すべきと思いますか？

以下のA～Hの項目について該当するもの1つに○をつけてください	特に重視すべき	やや重視すべき	どちらともいえない	あまり重視する必要はない	重視する必要はない
A急な下り坂、上り坂の回避	①	2	3	4	5
B貨物輸送と生活交通の分離	1	②	3	4	5
C釧路空港への所要時間短縮	1	2	③	4	5
D通行止め多発区間の回避	1	2	3	④	5
E釧路市の医療拠点への所要時間の短縮	1	2	3	4	⑤
F信号箇所等の回避による救急搬送時の負担軽減	1	2	3	④	5
G津波浸水区間の回避	1	2	③	4	5
H代替路の確保	1	②	3	4	5

質問2. 新たな対策案(ルート帯案)の比較にあたって、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか？

以下のA～Dの項目について該当するもの1つに○をつけてください	特に配慮すべき	やや配慮すべき	どちらともいえない	あまり配慮する必要はない	配慮する必要はない
A家屋や農用地への影響	①	2	3	4	5
B自然環境への影響	1	②	3	4	5
C工事中の交通規制による影響	1	2	③	4	5
D整備費用が安い	1	2	3	④	5

質問3. その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由にお書きください。

アンケートについてのお問い合わせ先

<調査主体>
北海道開発局 釧路開発建設部 道路計画課
北海道横断自動車道 根室線（尾幌～糸魚沢間）
道路計画に関する意見募集係
〒085-8551 釧路市幸町10丁目3番地
電話0154-24-7268



国土交通省

安全で快適な地域づくりのために
皆様のご意見をお待ちしております。



本調査は、釧路根室地域の道路計画について地域にお住まいの皆様や道路利用者のご意見を広くお聞きすることを目的とするものです。

そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。

回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。（法令により開示を求められた場合を除きます）